

自然エネルギー利用イメージ

「ひかりのみち」の設置による教育環境の向上

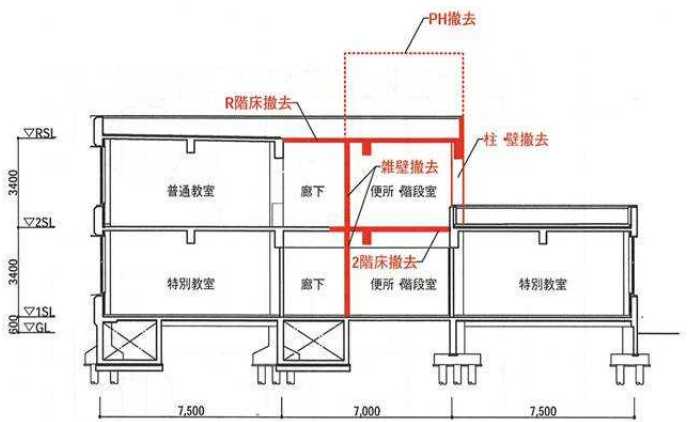
建物中央部分の屋根と2階床の躯体を解体し、ガラス屋根で覆うことで得られる2層吹き抜けの空間「ひかりのみち」を設けた。自然光利用により照明負荷が削減されただけでなく、特別教室と連動した活動など生徒の日常生活の中心として活用されている。また、PTAの集会やその他のイベントなどにも使用されている。

施設全体が自然光に満ち溢れた明るく活動的な空間はとなり、一つの大きな家のような親密な一体感を感じさせる空間として、生徒の気分にも大きな影響を与えているようである。

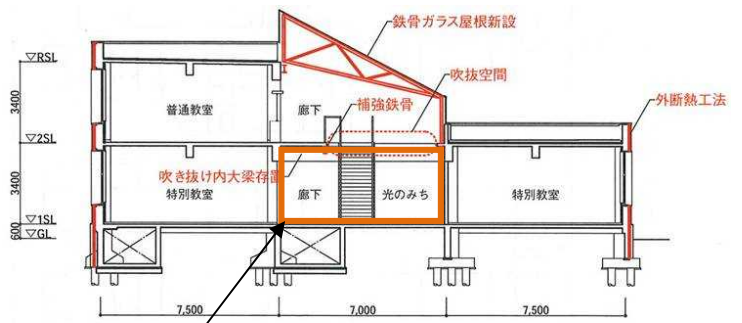
なお、この改修で躯体重量が軽くなったことで、耐震性能を示すIs値において、約20%の性能向上を果たすと同時に、杭基礎への負担を軽減することができた。



ひかりのみち部分 解体状況



改修前断面図



ひかりのみち

改修後断面図

改修前後の断面図

(設計期間)

- プロポーザル 平成18年2月
- 実施設計 平成18年4月～平成18年7月
- 施工期間 平成18年9月～平成19年2月(校舎)

3：特に留意した点

竣工後、検討会を運営した事務局を中心に、アドバイザー、学校、設計者などが集まり、消費エネルギーのモニタリングや運用マニュアルの検討を継続して行っている。また、授業カリキュラムの中に環境教育のプログラムを盛り込み活用している。



環境についてのワークショップの風景